

2025年度国際コミュニケーション学部「実務経験のある教員等による授業科目」（国際コミュニケーション学科）

科目名	教員氏名	配当年次	開講期	授業方法分類	科目分類	単位数	実務経験のある教員による授業科目
英語通訳・翻訳研究Ⅰ	本間 千重子	4	2025年度 前期	講義	選択	2	通訳翻訳業務及び旅行業務における経験のある者が「通訳翻訳研究」の専門科目を担当する。
英語通訳・翻訳研究Ⅱ	本間 千重子	4	2025年度 後期	講義	選択	2	通訳翻訳業務及び旅行業務における経験ある者が「通訳翻訳研究」の専門科目を担当する。
文化資源学（歴史・民俗）	福江 充	2	2025年度 前期	講義	選択	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
文化資源学（史跡・名勝）	福江 充	3	2025年度 後期	講義	選択	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
現代アメリカ論	田中 康友	3	2025年度 後期	講義	選択	2	海上自衛隊幹部学校の制服自衛官の教官による講義を行う予定である。
観光ビジネス論	本間 千重子	3	2025年度 前期	講義	選択	2	旅行業務における経験のあるものが「観光ビジネス論」「観光学概論」の専門科目を担当する。
国際協力論	田中 康友	3	2025年度 前期	講義	選択	2	日本政府として国際協力を実行しているJICAの役割を理解するためにJICA北陸センター所長および所員による講演を、また青年海外協力隊としてカンボジアでの教育支援を経験を持つ元協力隊員による講演を予定している。
自然科学概論	野口 雅弘	カリキュラムにより異なります。	2025年度 後期	講義	選択	2	理学療法士の実務経験のある教員が実務経験を活かし、医学、保健学的視点から自然科学について講義する。
宗教学	福江 充	1	2025年度 後期	講義	選択	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の宗教史跡・祭祀遺跡などの情報等も交え、一般的な宗教学の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
芸術学	廣田 いずみ	カリキュラムにより異なります。	2025年度 後期	講義、討論	選択	2	美術館・博物館で、美術及び工芸を担当する学芸員として勤務してきた教員が、美学・美術史を概説し、作品の見方・味わい方・魅力を、作り手と受け手の仲介であるという学芸員の視点を加えて、解説する。
スポーツⅠ	大日向 茂樹	1	2025年度 前期	実技	選択	1	担当教員は、高等学校保健体育科教諭での経験を基に、経験に裏付けられた実務的な教授も併せて行う。
スポーツⅡ	大日向 茂樹	1	2025年度 後期	実技	選択	1	担当教員は、高等学校保健体育科教諭での経験を基に、経験に裏付けられた実務的な教授も併せて行う。
現代社会と職業	田中 康友	2	2025年度 後期			2	業界研究では、製造業・商社・観光業・自衛隊から講師をお招きして、業界の実態についてお話を聞く計画である。
教職論	中村 義治	1	2025年度 後期	講義	選択	2	高等学校で20年間以上にわたり生徒を指導した経験をもつ教員による指導を行う。実際の教育現場で起こった様々な事例を参考に、学生同士のグループ・ディスカッションを通して、現在の教職の課題及び解決策について考察を深める。文章化されていない点にまで考えを深めることの大切さを実務家教員の立場から指導する。
教育学概論	板倉 栄一郎	1	2025年度 後期	講義	選択	2	本授業の担当者は、高等学校での教員・管理職の経験を有する。
教育課程論	板倉 栄一郎	2	2025年度 後期	講義	選択	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
英語科教育法Ⅰ	小池田 満	2	2025年度 前期			2	中学生・高校生に対する英語指導経験か?ある教員か?、その経験を活かして、英語教師として必要な知識・技能を総合的に指導する。
英語科教育法Ⅱ	小池田 満	2	2025年度 後期			2	中学生・高校生に対する英語指導経験か?ある者か?、その経験を活かして、英語教師に必要な知識・技能を総合的に指導する。
英語科教育法Ⅲ	小池田 満	3	2025年度 前期			2	中学生・高校生に対する英語指導経験か?ある者か?、その経験を活かして、英語教師に必要な知識・技能を総合的に指導する。

2025年度国際コミュニケーション学部「実務経験のある教員等による授業科目」（国際コミュニケーション学科）

英語科教育法Ⅳ	小池田 満	3	2025年度 後期			2	中学生・高校生に対する英語指導経験か?ある者か?、その経験を活かして、学校英語教育における評価について総合的に指導する。
教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論・方法)	中村 義治	2	2025年度 前期	講義	選択	2	指導は高等学校で20年間以上にわたり生徒を指導した経験をもつ教員が行う。実際の教育現場で起こった様々な事例を参考に、学生同士のグループ・ディスカッションを通して、考察を深める。
道徳教育論	板倉 栄一郎	3	2025年度 前期	講義	選択	2	高等学校で約20年間、生徒に対して道徳を指導してきた経験から、学習指導要領では学べない実際の指導上の課題や留意点を踏まえた道徳教育の理論と指導法について講義する。また、実際に模擬授業を行い、自分自身が体験的に指導方法を学ぶことで理解を深める。
特別活動と総合的な学習の時間	板倉 栄一郎	3	2025年度 後期	講義	選択	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
生徒・進路指導論	中村 義治	3	2025年度 前期	講義	選択	2	担当教員は高等学校に20年以上勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
教育相談	原田 克巳	3	2025年度 後期	講義	選択	2	・臨床心理士／公認心理師であり、公立小学校でのスクールカウンセリング、及び大学附属中学校・高等学校での教育相談に従事している教員が、教育相談に係る事案とその対応方法について講義する。
教育実習事前事後指導	板倉 栄一郎	4	2025年度 前期～後期	講義	選択	1	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
教育実習Ⅰ	板倉 栄一郎	4	2025年度 後期	実習	選択	2	現場教員による指導
教育実習Ⅱ	板倉 栄一郎	4	2025年度 後期	実習	選択	2	現場教員による指導
教職実践演習（中・高）	板倉 栄一郎	4	2025年度 後期	講義	選択	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
特別支援教育	鋪村 暢代	2	2025年度 前期	講義	選択	1	特別支援学校（知的障害・肢体不自由・視覚障害）教員の実務経験を活かし、幼児児童生徒の事例を具体的に紹介しながら、特別支援教育について学生が具体的なイメージを持てるような授業を行う。
海外インターンシップ	林 洋一	2	2025年度 後期	実習	選択	1	企業で実務経験のある教員が、海外で働くために必要な意識と能力について指導する。
Intensive EnglishⅠ	本間 千重子	3	2025年度 前期	演習	選択	1	Ⅰ旅行業務における経験あるものが「Intensive EnglishⅠ観光英語」の専門科目を担当する。Ⅱ
Intensive EnglishⅡ	本間 千重子	3	2025年度 後期	演習	選択	1	旅行業務における経験あるものが「Intensive EnglishⅡ観光英語」の専門科目を担当する。
コミュニケーション心理学	林 洋一	カリキュラムにより異なります。	2025年度 前期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
障害者・障害児心理学	水崎 優希	カリキュラムにより異なります。	2025年度 後期	講義	選択	2	臨床心理士・公認心理師として精神科クリニックや大学での学生相談に従事した経験も踏まえて学生に障害や疾患、事例等について解説する。
発達心理学	林 洋一	カリキュラムにより異なります。	2025年度 後期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
青年心理学	林 洋一		2025年度 後期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
北陸の文化と社会	福江 充	カリキュラムにより異なります。	2025年度 前期	講義	必修	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
日本史	福江 充		2025年度 後期	講義	選択	2	県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
					合計	71	※色付きは心理社会学科と共通科目

科目名	教員氏名	配当年次	開講期	授業方法分類	科目分類	単位数	実務経験のある教員による授業科目
文化資源学（歴史・民俗）	福江 充	2	2025年度 前期	講義	選択	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
文化資源学（史跡・名勝）	福江 充	3	2025年度 後期	講義	選択	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
現代アメリカ論	田中 康友	3	2025年度 後期	講義	選択	2	海上自衛隊幹部学校の制服自衛官の教官による講義を行う予定である。
観光ビジネス論	本間 千重子	3	2025年度 前期	講義	選択	2	旅行業務における経験のあるものが「観光ビジネス論」「観光学概論」の専門科目を担当する。
国際協力論	田中 康友	3	2025年度 前期	講義	選択	2	日本政府として国際協力を実行しているJICAの役割を理解するためにJICA北陸センター所長および所員による講演を、また青年海外協力隊としてカンボジアでの教育支援を経験を持つ元協力隊員による講演を予定している。
自然科学概論	野口 雅弘	カリキュラムにより異なります。	2025年度 後期	講義	選択	2	理学療法士の実務経験のある教員が実務経験を活かし、医学、保健学的視点から自然科学について講義する。
宗教学	福江 充	1	2025年度 後期	講義	選択	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の宗教史跡・祭祀遺跡などの情報等も交え、一般的な宗教学の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
芸術学	廣田 いずみ	カリキュラムにより異なります。	2025年度 後期	講義、討論	選択	2	美術館・博物館で、美術及び工芸を担当する学芸員として勤務してきた教員が、美学・美術史を概説し、作品の見方・味わい方・魅力を、作り手と受け手の仲介であるという学芸員の視点を加えて、解説する。
スポーツⅠ	大日向 茂樹	1	2025年度 前期	実技	選択	1	担当教員は、高等学校保健体育科教諭での経験を基に、経験に裏付けられた実務的な教授も併せて行う。
スポーツⅡ	大日向 茂樹	1	2025年度 後期	実技	選択	1	担当教員は、高等学校保健体育科教諭での経験を基に、経験に裏付けられた実務的な教授も併せて行う。
現代社会と職業	田中 康友	2	2025年度 後期			2	業界研究では、製造業・商社・観光業・自衛隊から講師をお招きして、業界の実態についてお話を聞く計画である。
心理学概論Ⅱ	林 洋一	1	2025年度 後期	講義	必修	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
心理学特殊講義Ⅱ	水崎 優希	4	2025年度 前期	講義	選択	2	臨床心理士・公認心理師として精神科クリニックや高校でのSC、大学での学生相談室等に勤務した経験も踏まえて講義を行う。
コミュニケーション心理学	林 洋一	カリキュラムにより異なります。	2025年度 前期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
社会調査論	西浦 真喜子	1	2025年度 前期	講義	選択	2	2025年は国勢調査の実施年であることから、総務省統計局の職員による国勢調査に関する講演を第5回授業にて予定している。
臨床心理学概論	後藤 和史	1	2025年度 後期	講義	必修	2	本授業の担当教員は、精神科クリニックや大学の一般向け心理相談室での心理臨床、大学における精神的問題を持った学生への対応に悩む教職員に対するコンサルテーション、学生への合理的配慮に関するコーディネート経験がある。これらの経験を参考に授業を進めていく。
障害者・障害児心理学	水崎 優希	カリキュラムにより異なります。	2025年度 後期	講義	選択	2	臨床心理士・公認心理師として精神科クリニックや大学での学生相談に従事した経験も踏まえて学生に障害や疾患、事例等について解説する。

心理的アセスメント	後藤 和史	2	2025年度 前期	講義	選択	2	本授業の担当教員は、精神科クリニックや大学の一般向け心理相談室での心理臨床、大学における精神的問題を持った学生への対応に悩む教職員に対するコンサルテーション、学生への合理的配慮に関するコーディネート経験がある。これらの経験を参考に授業を進めていく。
心理学的支援法	水崎 優希	2	2025年度 前期	講義	選択	2	臨床心理士・公認心理師として精神科クリニックや大学での学生相談に従事した経験等を踏まえて学生に障害や疾患、事例等について解説する。
福祉心理学	水崎 優希	3	2025年度 前期	講義	選択	2	臨床心理士・公認心理師として精神科クリニックや大学での学生相談に従事した経験等を踏まえて学生に心理療法や事例等について解説する。
人体の構造と機能及び疾病	二ノ倉 欣久	1	2025年度 前期	講義	選択	2	実務の経験を有する教員が講義ごとに重要な項目について実務の実際における具体的事例やエピソードを紹介しつつ、講義で学ぶ項目と対応させた講義が行われる。
精神疾患とその治療	二ノ倉 欣久	3	2025年度 前期	講義	選択	2	公認心理師としての実務の経験を有する教員が講義ごとに重要な項目について実務の実際における具体的事例やエピソードを紹介しつつ、講義で学ぶ項目と対応させた講義が行われる。
関係行政論	向山 泰代	3	2025年度 前期	講義	選択	2	心理専門職として、教育や福祉等の現場での実務経験を有する教員が、経験を踏まえて講義する。
心理演習	林 洋一	3	2025年度 後期	演習	選択	2	本授業の担当教員は、中学校のスクールカウンセリングや大学の心理相談室での心理臨床、精神的問題を持った学生への対応に悩む教職員に対するコンサルテーション、学生への合理的配慮に関するコーディネート経験がある。これらの経験を参考に授業を進めていく。
公認心理師の職責	向山 泰代	2	2025年度 前期	講義	選択	2	心理専門職として、教育や福祉等の現場での実務経験を有する教員が、経験を踏まえて講義する。
発達心理学	林 洋一	カリキュラムにより異なります。	2025年度 後期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
児童心理学	林 洋一	2	2025年度 前期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
青年心理学	林 洋一	2	2025年度 後期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
教育・学校心理学	林 洋一	3	2025年度 前期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
生涯発達心理学	林 洋一	2	2025年度 前期	講義	選択	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
神経・生理心理学	二ノ倉 欣久	2	2025年度 後期	講義	選択	2	公認心理師としての神経心理学の実務の経験を有する教員が講義ごとに重要な項目について実務の実際における具体的事例やエピソードを紹介しつつ、講義で学ぶ項目と対応させた講義が行われる。
経営組織論	西山 崇宏	2	2025年度 後期	講義	選択	2	担当教員はドイツの自動車部品サプライヤーに通訳として所属し、組織間の様々な交渉の場や、生産現場で働いた経験がある。経営組織の日独比較も行う。
北陸の文化と社会	福江 充	カリキュラムにより異なります。	2025年度 前期	講義	必修	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
日本史	福江 充	1	2025年度 後期	講義	選択	2	県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
					合計	66	※色付きは国際コミュニケーション学科と共通科目